

海外派遣留学生
留学報告書
フィンランド・トゥルク大学

学部学科・研究科専攻	文化社会学部 北欧学科		留学時学年	3年
留 学 先	国	フィンランド	大学/機関	トゥルク大学
期 間	2024 年 8 月 23 日 ~ 2025 年 5 月 31 日			
	長期		計約 9 ヶ月	

[1] 参加した語学コースの時間数／科目名（受講科目・複数可）

- 授業時間数：一講義 2 時間
- 科 目 名： Suomen kielen käyttö
Suomen kielioppi I
Suomen kielioppi II
Suomen kielen kehitys ja variaatio
Suomen kirjallisuus
Suomi-tietous
Asiatekstien kirjoittaminen
Tieteellinen kirjoittaminen
Suullinen ilmaisu

2024 年 秋学期

時 間	月	火	水	木	金	土	日
8:30 - 10:00						Free	Free
10:15 - 11:45		Suomi-tietous		Asiateksti en kirjoittami nen (10 月 31 日 ~12 月 12 日)	Suomen kielen käyttö		
12:15 - 13:45	Suomen kielen käyttö	Suomen kielioppi I					
14:15 - 15:45				Suomen kielioppi I			

時 間	月	火	水	木	金	土	日
8:30 - 10:00			Suomen kielen käyttö			Free	Free
10:15 - 11:45	Suomen kirjallisuus	Suomen kielioppi II	Suomen kielioppi II (水曜のみ: 1月15日~1月29日)	Suullinen ilmaisu (1月16日~3月6日)	Tieteellinen kirjoittaminen		
12:15 - 13:45	Suomen kielen käyttö						
14:15 - 15:45			Suomen kielen kehitys ja variaatio (3月18日~5月6日)	Suomen kirjallisuus			

[2] 授業内容について教えてください。

(クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等)

クラスの人数は授業によって異なりますが、どのクラスも概ね 10 人程度の小規模なクラスでした。受講生は、私のような交換留学生から修士課程・博士課程に在籍している人、小さな子どもを持つ母親など、年代、職種、その背景等は実に様々です。出身地は、ウクライナ、ロシア、その周辺国、ヨーロッパの人が多く、アジア出身の人は私を含めて二人だけでした。

授業方法は基本的に先生が話をする講義形式で、時々グループワークもありました。教科書などは使わずに、先生が作ったパワーポイントや参考資料を中心に授業が行われました。レベルは授業によって異なり、たとえばフィンランド語での論文の書き方等を学べる授業は中でも難しかったです。

担当の先生方は、みな親切でよく質問にも答えてくださりました。留学期間中に私が一番多く接した先生は、いつもにこやかで優しく、質問をする度に、とても詳しく説明をしてくださいました。友人と街角で分からない文法や表現を見つけた際には、いつもこの先生に質問をしていました。一時期、授業の終わりに毎回のように質問をしていたので、その内に先生の方から「今日は質問は無いの？」と笑いながら聞かれるくらいでした。

・受講した授業の内容

Suomen kielen käyttö : 秋学期から春学期にかけて開講され、講義や発表などを通して、フィンランド語に関していろいろと学べる授業。秋学期はことわざや様々な表現方法を学び、春学期は、フィンランド語での会話、それに関する文化などがあり、多少文法に関する講義もあった。両学期とも中間にミニエッセイ課題があり、期末には筆記試験があった。

Suomen kielioppi I : 音韻論のような話から始まり、初級から中級、上級レベルの文法を一通り学ぶ授業。期末テストがあった。

Suomen kielioppi II : 様々な文の構造を学ぶ授業。単に文法を学ぶというよりは、この場合はどの格を使うかなど、分析する要素も多くあった。期末には筆記試験があった。

Suomen kielen kehitys ja variaatio : フィンランド語の書き言葉の発展の歴史や方言について学べる授業。

Suomen kirjallisuus : 時代背景もふまえながら作品や作家を通してフィンランドの文学について学べる授業。発表(ある作家について調べて授業で発表する)と読書課題(フィンランド文学を一冊読む)があり、期末テスト(筆記)もあった。

Suomi-tietous：主に授業の前半では、フィンランドに関する基本的なこと（文化、言語状況など）を学び、後半からは受講生によるフィンランドに関する記事を取り上げた発表（育児パッケージ、民族舞踊、ファッション etc）があった。

Asiatekstien kirjoittaminen：様々な書式（メール、取扱説明書など）の特徴や書き方、フォーマルなものとは違うものの違いなどを学べる授業。毎週ライティング課題（reklamaatio, lyhyt essee jne.）があった。

Tieteellinen kirjoittaminen：フィンランド語での論文の書き方（構成、引用の仕方、引用文献の書き方など）を学べる授業。ほぼ毎週ライティング課題があり、提出したものは先生が毎回丁寧に添削して返却してくれた。

Suullinen ilmaisu：大統領の新年のスピーチや、その他様々な場面のスピーチなどを聞くことから始まり、その後、受講生が短いスピーチなどを行う授業。話し方の分析などもあった。

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

基本的には、平日の空き時間に友人と会う、どこかへ出かけるなどし、週末は買い出し、料理、洗濯などに時間を充てていました。

秋から冬にかけては、その季節ごとに開催される行事に参加したり、春は寮の近くの川沿いを散歩し、その途中にあるベンチでフィンランド語の小説を読んだりするなど、のんびりとトゥルクでの生活を楽しましました。

・言語カフェ

トゥルク市の図書館（Turun p ä ä kirjasto）では、毎週月曜日の夕方に、フィンランド語の言語カフェ（Suomen kielikahvila）が開かれていました。これは、フィンランド語を学びたい人などが、ボランティアのフィンランド人との会話を通してフィンランド語を学べるような場所で、私はいつもそこに参加していました。このようなフィンランド語の言語カフェはこの図書館だけではなく、他の場所でも開かれていたので、空き時間はよくここに参加していました。

・友人とフィンランド語の会話練習

春学期の後半になり、親しくなったクラスメイトの一人がフィンランド語の会話練習をしないかと誘ってくれたので、彼とその他の共通の友人と一緒に、空き時間にフィンランド語の会話練習をしていました。

・シンポジウム、研究発表の聴講

フィンランド語に関する研究発表、シンポジウムなどが時々トゥルク大学で開催されており、友人と一緒に参加しました。研究発表で発表する方は、博士課程や大学の教員、研究者なので、発表内容を理解するのは大変でしたが、良いリスニングの練習になりました。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。（図書館、学生会館、スポーツ施設等）

Arcanum：私が受講した授業の大半がこの Arcanum という建物で開講されていました。ここは、一階に大きなクッション性のソファのようなものがあり、奥には図書館もあるので、次の授業が始まる前に、よくそこでのんびりとくつろいでいました。

Feeniks：トゥルク大学のメインビルの近くにある図書館。建物全体が図書館になっており、2階の自習室のような所をよく利用しました。ここは、照明が明るすぎず暗すぎず、とても居心地の良い空間で、窓からトゥルク大聖堂が見えるのもお気に入りの一つでした。

Educariumin kirjasto : トゥルク大学にある Educarium という名前の建物の中にある図書館。寮から大学へ行くときに一番近くにある図書館だったので、課題などをよくこの場所でやりました。集中して課題に取り組める居心地の良い空間です。

Turun pääkirjasto (Turku main library) : 大学の寮から歩いて 25 分くらいのところにあるトゥルク市の図書館です。少し気分転換をしたい時にこの図書館へ行って勉強をしていました。また、この図書館の中にはカフェがあり、そこは友人との会話をする場としてよく利用していました。

[5] 宿舎（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

部屋 : 1 部屋 1 人で使用

様子 :

私が滞在した寮は ylioppilaskylä という、学生寮がいくつも建っているエリアにある寮の一つで、部屋には、ベッド、机、卓上ライト、椅子、棚、クローゼット、冷蔵庫が備え付けられていました。部屋に入ってすぐの所に洗面所があり、そこにトイレ、シャワーがあります。

各階には共同キッチンが一つあり、そこを同じ階の人達で使いました。キッチンには、比較的大きなテーブル、椅子などがあり、分別されているゴミ箱もありました。

寮にはいろいろなタイプの部屋があるので、滞在する場所によって多少の違いがあると思われますが、私が滞在した寮の部屋は床が木のようなタイプだったので、居心地は良かったです。建物によっては、コンクリートのような、もっと冷たく感じる硬い床の部屋もありました。

私は利用しませんでした。滞在した寮の最上階にはサウナがあり、一月に数回無料で入ることができるサウナシフトというものが寮費に含まれていました。また、洗濯は、いくつかの棟にある各洗濯機を予約して使用します。使用料は、1 回分が 2.50€ で、5 回分などまとめて買うと 10€ と少し安くなりました。乾燥機は無料で使えます。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

● 楽しかったこと :

大学入学前から「フィンランドに長期留学をしたい」と夢見ていたので、その夢が叶えられて全てが楽しかったです。特に、どこへ行っても常にフィンランド語が目に入り、図書館にはフィンランド語の書籍があふれ、言語カフェ、また、授業や友人との会話を通してフィンランド語に思う存分触れることができた環境は、私にとってとても幸せでした。また、日本では体験できないようなことをたくさん体験・経験できたので、それも良かったです。たとえば、フィンランドは 10 月末から徐々に日が短くなり 12 月くらいには朝の 7 時くらいでも真っ暗な状態です。それが年明けから段々と日が長くなり、5 月下旬には夜の 23 時でもまだ少し明るい、というような日本とは違う気候を、実際に経験しました。また、秋には友人と森ヘキノコ狩りに、新年には花火、その他フィンランド特有の行事に参加等、多くのことを体験できたことは、留学の良い経験・思い出にもなりました。

● 苦労したこと :

何かしら苦労したことはあったかもしれませんが、留学中は毎日が楽しかったので、あまり覚えていません。苦労は、むしろ留学前の、ビザ申請をはじめとする各種申請など、いろいろな手続きの方が大変でした。

留学中で苦労したことは、強いて言うならば、留学後半の最後の方で体調を崩してしまったことでしょうか。風邪などの類ではなかったので、少し辛かったです。

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上：

今回の留学へは4年生の秋から行きました。大学では約3年半フィンランド語を勉強したので、いろいろな文法の知識は既に頭の中にはありました。しかし、日本にいる時はフィンランド語を話す機会があまり無かったので、留学当初は頭の中で一度単語を文法通りに組み立てて、それから話すということを意識的に行っていました。この頃はまだ、聞かれたことに答えることで精一杯で、授業のグループワークの時でも単語がすぐに出てこないことが普通でした。しかし、全てフィンランド語で行われる授業を毎日受け、週に2回ほどフィンランド語の言語カフェに行くようになったことで、段々と語学力・会話力が向上していきました。3ヶ月、5ヶ月と経つうちに、比較的簡単な内容に関しては、毎回頭の中で文法を組み立てるようなことはせずに、日本語を話すときのように自然と話せるようになっていきました。留学後半には、フィンランド人の友人との日常会話はほぼ問題なく出来るようになり、トゥルクの方を話す人との会話も段々と出来るようになりました。また、論文なども以前より理解できるようになり、読む、聞く、書く、話す、全てにおいて向上しました。

2) 専門知識の向上：

今回の留学の第一の目的がフィンランド語を学ぶことだったので、専門分野を学ぶような機会はあまりありませんでした。しかし、約9カ月間フィンランドで暮らしたことで、留学前に大学の授業で学んだ知識を体験と結びつけること、受け身で得た知識ではなく、自ら現地に行き自分の体験を通して得た知識を身に付けられたと思います。身近な話では、留学前には、例えばある人から「フィンランドの冬はどのような感じですか」と聞かれた際、「フィンランドは高緯度地域に属しているので、暗くて寒いらしいです」と人から聞いたことを伝えることしかできませんでした。しかし、留学中に実際にフィンランドの冬を体験したことで、自分の体験も含めて話せるようになりました。専門知識の向上はないかもしれませんが、留学前と比べると、より自分のことばでフィンランドについて語れるようになったと思います。

3) 自己成長など

留学中に苦労したことはあまり無いと書きましたが、問題が何も無かった訳ではありませんでした。たとえば、寮の部屋の二重冊子の窓が締まらなくなり、その修理を寮の会社を通してお願いしたり、寮費の支払い上のトラブルに対応したり…。しかし、それらを通して、何か問題が起きててもあまり動じずに、冷静に対応できるようになったと思います。また、カスタマーサービスへ問い合わせの電話をかけたり、いろいろな方とフィンランド語でたくさんコミュニケーションを取ったことで、外国語で話すことにも自信が付きました。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

大学の授業で学んだ様々な知識を体験と結びつけられる機会の一つが、現地で実際にある程度の期間生活をしてみると、留学だと思います。私も約9カ月間フィンランドのトゥルクで過ごしましたが、その間に言語カフェ、ちょっとしたボランティアなど様々な事に参加し、それらを通していろいろな人達と知り合うことができ、いろいろな価値観や考え方にも触れることが出来ました。また、現地での生活を通して日本にいる時に大学で学んで知ったフィンランド像とは違う、より等身大の姿を知ることが出来たように思います。ですので、留学した際は、是非、これは！と思うようなことがあったら積極的に挑戦してみてください。

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

(2024 年 8 月 24 日～2025 年 5 月 29 日)

項目※詳しく記入して下さい	金額（当時の日本円）
渡航費（旅行会社に支払った経費）	253,170 円（往復）
授業料以外の諸経費（教材費・課外活動・保険料等）	なし
私生活における諸経費（食費・交通費・洗濯費等）	学食（2.95€/1 食）：92,217 円 洗濯費：17,116 円 交通費（トゥルク市内バス Föli）：23,239 円 携帯電話使用費（DNA Tehonetti 30vrk）：37,659 円
現地からの奨学金がある場合	なし
その他（ ビザ申請でかかった費用 ）	在留許可申請費：60,998 円（350.00€） 銀行残高証明書発行手数料：770 円 海外保険料（ACS）：84,587 円（485.50€） 文書翻訳費用（日→英アポスティーユ認証取得料など含む）：33,100 円 在留許可郵送費用：600 円
その他（ 寮費 ）	690,178 円（404.33€（約 65,000 円） /月）
その他（ 食費（自炊）、日用品、旅行、娯楽 etc ）	480,582 円
留学に関する費用の総額	1,774,216 円



寮の部屋



共同キッチン



洗濯機

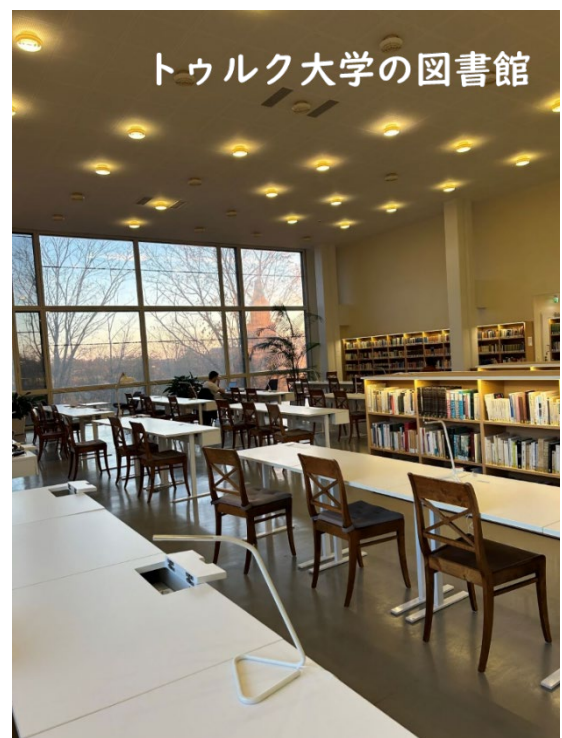
夏の終わり頃



大学の建物 Arcanum



トゥルク市の図書館



トゥルク大学の図書館



トゥルク大学



Jäätelökioskiのアイス



トゥルク
マーケットスクエア

秋



冬



春

